

第2次伊勢原市男女共同参画プラン

～男女が豊かにその人らしく生きる社会をめざして～

プランの策定の趣旨

本市は、男女共同参画社会の実現に向けた取組を総合的に推進するため、平成25年に「伊勢原市男女共同参画プラン（改訂版）」を策定し、施策を推進してきました。その後の社会情勢の変化を踏まえて、施策や事業などについて見直しを行いました。

伊勢原市男女共同参画プラン改訂版の策定（平成25年7月）

少子高齢化の進展と人口減少社会の到来

国第4次男女共同参画基本計画策定

女性活躍推進法の制定

第5次市総合計画の策定

第2次伊勢原市男女共同参画プラン【第2次プラン】（平成30年4月）

- ・伊勢原市男女共同参画プラン改訂版の取組の検証
- ・内容の見直し

プランの位置づけ

第2次プランは次の法律に基づく計画として位置づけます。

男女共同参画社会基本法に基づく計画

本市における男女共同参画を総合的に推進するための計画。

DV防止法に基づく計画

配偶者等への暴力の根絶に向けて取組を推進するための計画。

女性活躍推進法に基づく計画

女性の職業生活における活躍を計画的に推進するための計画。

また、伊勢原市第5次総合計画で目指す将来像の実現を男女共同参画の面から実現するための、個別分野の計画として位置づけます。

プランの特徴

代表的な目標値の設定

施策の方向毎に、特に重要な事業について目標値を設定し、優先順位付けをするとともに、計画全体の進捗状況を見えやすくしました。

女性活躍推進に向けた取組

新たに女性活躍推進法に基づく計画としても位置づけ、女性活躍推進に向けた取組を明記しました。

多様な性に関する理解の促進

性的少数者に対する差別や偏見をなくし、理解を深めるための啓発活動を行うことを明記しました。

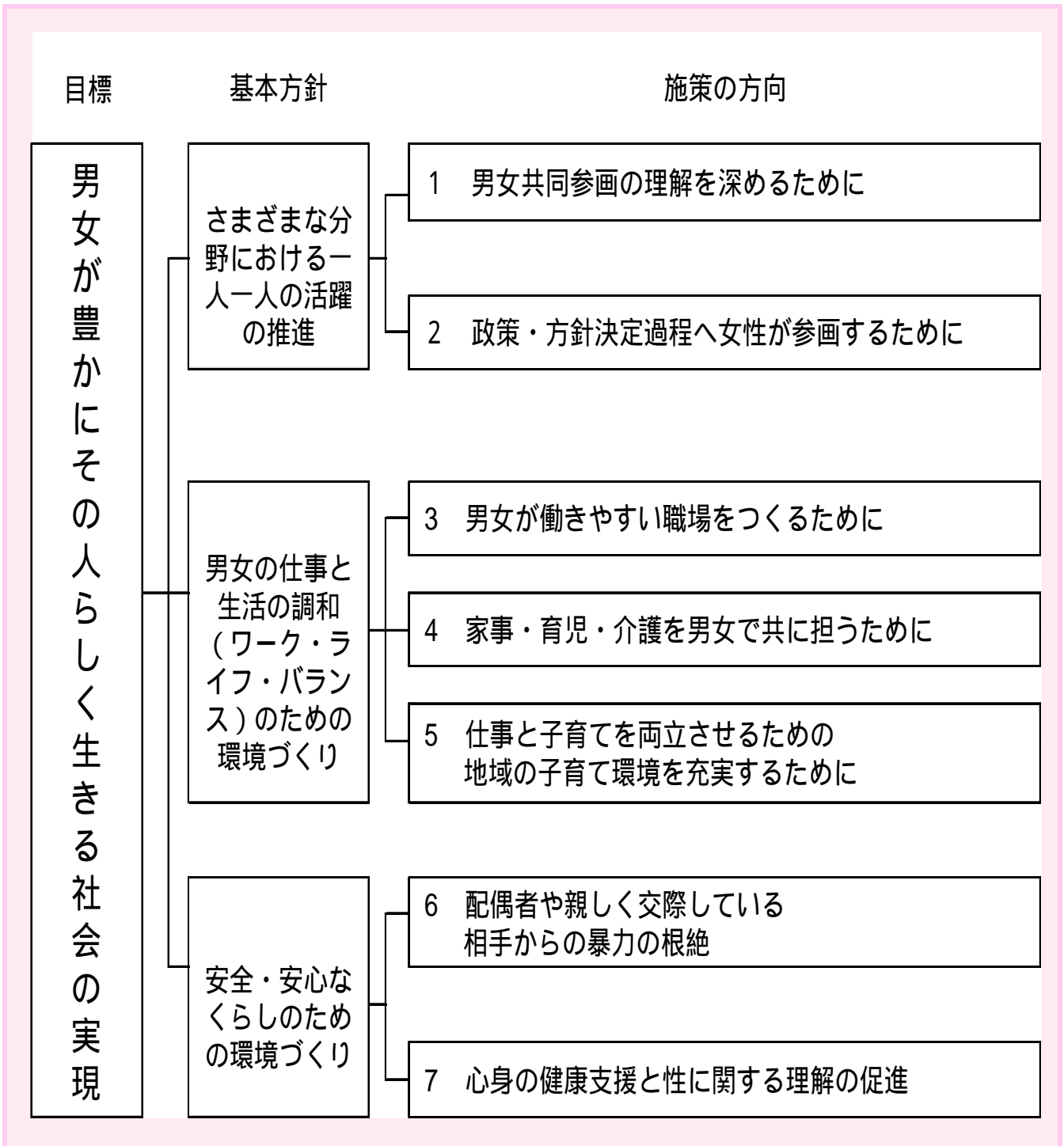
プランの期間

2018(平成30)年度から2022(平成34)年度までの5年間とします。

プランの目標

『男女が豊かにその人らしく生きる社会の実現』

プランの体系



プランの施策

施策の方向1 男女共同参画の理解を深めるために

生涯を通じた学習機会の提供と、家庭、地域、学校など、さまざまな場面での意識啓発を進めます。

【目標値】

(1) 男女共同参画フォーラムの参加者数・参加者の意識変化

参加者数

現状 260人/年(2014年度～2016年度平均) 目標 280人/年

アンケート結果「気持ちに変化があり、行動しようと思った」の回答

現状 73.0%(2014年度～2016年度平均) 目標 76.0%/年

(2) 市内の全公民館における男女共同参画に関連する講座受講者数

現状 775人/年(2013年度～2016年度平均) 目標 780人/年

施策の方向2 政策・方針決定過程へ女性が参画するために

政策、方針決定の場への女性の参画拡大と、責任ある立場への女性の進出を促します。

【目標値】

(1) 各種審議会等の女性委員の割合

現状 39.0%(2017年度) 目標 40%以上 60%以下(2022年度末)

(2) PTA、自治会の会長及び消防団員に占める女性の割合

	現状(2017年度)	目標(2022年度末)
PTA会長	7.1%	14.2%
自治会長	6.9%	10.8%
消防団員	5.8%	5.8%

施策の方向3 男女が働きやすい職場をつくるために

雇用・就業における男女平等の確保と、事業者へ男女共同参画を促進する制度等の普及を図ります。

【目標値】

(1) 就労環境に関する各種認定等 取得事業所数

現状 1社 目標 3社

(2) ワーク・ライフ・バランスに関するホームページの作成

現状 なし 目標 開設(2018年度)・充実(2019年度以降)

各種認定等には、次のようなものがあります。

次世代育成支援対策推進法に基づく認定・・・くるみんマーク

女性活躍推進法に基づく認定・・・えるぼし認定

神奈川県子ども・子育て支援推進条例に基づく認証・・・認証マーク『かながわ子育て応援団』

施策の方向4 家事・育児・介護を男女で共に担うために

男女の固定的性別役割分担を見直す啓発を進め、男性の家庭生活への参画を推進します。

【目標値】

(1) 男性の家事参加促進講座参加者数

現状 334人/年(2016年度) 目標 340人/年

(2) 家族介護者教室参加者数

現状 95人/年(2016年度) 目標 190人/年(2022年度)

施策の方向5 仕事と子育てを両立させるための地域の子育て環境を充実するために

男女がともに子育てに関わることができるよう支援を行うとともに、地域、社会による子育て支援を進めます。

【目標値】

(1) 保育所待機・保留児童数

現状 108人(2017年度) 目標 0人(2022年度末)

(2) 「この地域で今後も子育てをしていきたい」と思う母親の割合

現状 90.7%(2016年度) 目標 94.2%(2022年度)

施策の方向6 配偶者や親しく交際している相手からの暴力の根絶

配偶者や親しく交際している相手からの暴力の防止と被害者の支援を進めます。

【目標値】

(1) 暴力防止に関する意識啓発活動

広報掲載 現状 2回/年(2016年度) 目標 2回/年

施策の方向7 心身の健康支援と性に関する理解の促進

男女の健康を生涯にわたり支援する取組や性に関する理解を深める取組を推進します。

【目標値】

(1) 子宮がん・前立腺がん検診の受診率の割合

子宮がん 現状 11.9%(2016年度) 目標 14.0%(2022年度)

前立腺がん 現状 28.5%(2016年度) 目標 30.0%(2022年度)

(2) 性の多様性に関する意識啓発活動

現状 0回/年(2016年度) 目標 1回/年